

ごあいさつ



旭川市長

西川 将人

第53回全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル・テニス）が本市で盛大に開催されますことは、大変喜ばしいことであり、全国各地から本市へお越しいただきました選手並びに関係者の皆様方に市民を代表し心から歓迎申し上げます。

さて、本市は北海道のほぼ中央に位置し、大雪山連峰に囲まれた北海道第2の都市であります。市内にはその大雪山連峰を水源とする石狩川など大小160本以上の川が流れ、また、大雪山連峰の伏流水など美味しい水に恵まれたまちであり、その水からつくられる地酒、そして地ビールはもちろんのこと、農産物も大変美味しいと注目を集めております。

また、本市はスポーツ合宿誘致に力を入れており、本州が梅雨の季節には旭川の降水量は比較的少なく、平均気温20度前後で本州に多いスギ花粉も少ないため、体を動かすには最適な気候となっております。今大会の開催される8月においても、日中は30度を超える日もありますが、湿気が少なくカラッとしており、朝夕は涼しく、試合後の体を休めやすい気候となっております。また、河川敷をはじめ、多くの公園にテニスコートを整備しており、環境整備にも力をいれておりますので、是非、今大会を機に、旭川の魅力に触れていただきたいと思います。

本大会では、全国各地から厳しい予選を勝ち抜いた実業団チームの白熱した戦いが繰り広げられると存じますが、テニスファンにとってその高いレベルの技術に触れられる機会は大変貴重であり、大いに刺激を受けることと存じます。

選手の皆様には日頃の練習の成果を存分に発揮され、団体戦の独特な緊張を楽しみながらチームの絆を強く持って、悔いのないよう試合に臨んでいただき、思い出深い大会となるよう御期待申し上げます。

結びに、選手の皆様の御健闘と本大会の限りない御発展、並びに関係者の皆様の今後一層の御健勝と御活躍を心から祈念申し上げ、歓迎のごあいさつといたします。

ごあいさつ



公益財団法人 日本テニス協会
実業団委員会委員長

矢澤 猛

お蔭さまで全国実業団対抗テニス大会（ビジネスパル）も第53回を迎え、ここ北海道旭川市にて3年ぶりに開催出来ることになり、大変うれしく思います。今回も北海道地域の実業団委員でもあります山田直樹氏のご尽力によって、真夏の大会ではありますが、素晴らしい気候の中で試合が行われることは、選手のみならず、大会関係者にとっても嬉しい事であり、感謝いたす次第です。3年前の本大会では東日本大震災の直後ということもあり、「とどけよう、スポーツの力を東北へ」を合言葉で関係者の皆さんには頑張っていただきました。また被災地となりました昨年の福島市大会も無事成功裡に終えることが出来ました。2020年の東京オリンピック開催決定で、すべてのスポーツへの関心が高まってきている中、気分も新たに日本を元気に出来るよう皆で大会を盛り上げていきたいと思っております。

後になりましたが、厳しい予選を勝ち抜き、ここ旭川市にお集まりいただいた選手の皆さん、おめでとうございます。これまでの予選会でもとても厳しい試合が続いてきた事と思いますが、これからの3日間が本番です。日頃の鍛錬の成果を存分に発揮できる絶好のチャンスととらえて是非頑張ってくださいと思います。そしてビジネスパル日本一を目指して素晴らしいテニスを観客や応援の人たちに披露していただきたいと思っております。また試合以外の時間では他チームとの親睦、交流を深め、旭川市での3日間を思う存分楽しんでいただき、沢山の思いで話をそれぞれの会社や地元の方々に持ち帰っていただきたいと思っております。

最後になりますが、ご後援頂いております朝日新聞社様、北海道、旭川市の関係各位、ご協賛頂いておりますブリヂストンスポーツ株式会社様、北海道旅客鉄道株式会社様、ご協力頂いております旭川テニス協会をはじめ、ご支援を頂いております関係各位にお礼を申し上げ、ご挨拶と致します。